

山

制作したホームページを通じて、柿渋への理解を深めたセミナー(精華町・木津川市・KICK)



参加者から意見を募った。HPでも意見を募り、更新・充実を図るという。

アドレスは<https://k.akishibu.co/>

(大竹逸朗)

DV防止フレ

城陽市が募った「DV発キャッチフレーズ」の賞に選ばれた「さしのベ手と勇気が命綱」を懸垂き込む作業がこのほど、田の市男女共同参画支援



春一番ワンコインコンサートin八幡市文化センター 3月9日午後2時、文化センター小ホール075(971)2111
1.八幡市を中心に活動するバンド3組が出演。懐かしの名曲やオリジナルソング。ワンドリンク付き500円。全席自由。6

障害者就労支援事業所で毎月茶席を開く
茶道裏千家流教授

中田 宗春(本名・徳美)さん(88)

「さんさん山城」(京田辺市興戸)のコミュニティイーカフェの一角。立礼席で、持参した茶道具を使い、なめらかな所作で抹茶を振る舞う。

茶も人生も「楽しく」

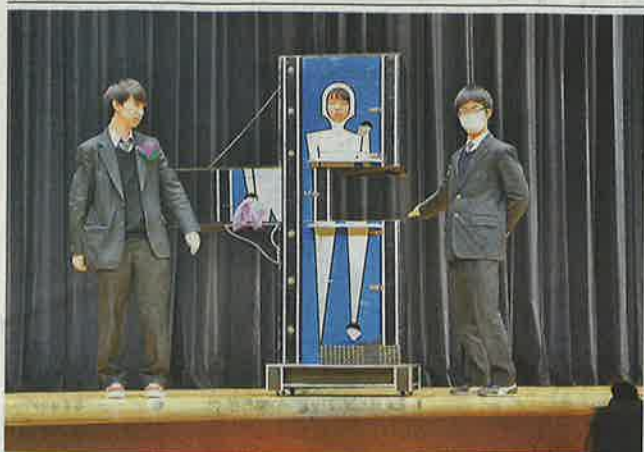
城が作った「濃茶大福」。今年1月末に、さんさん山城の視察に訪れたドイツの福祉施設担当者にお点前を披露し、「熱いですよ」「抹茶は初めて?」と優しく語りかけた。

で10歳で中国・上海に住み、茶道に触れた。「お菓子をいただけなのが楽しくて」。7年後に帰国し、本格的に稽古を受けた。50年ほど前から京田辺市に住み、自宅などで教室を開く。15年前に教授の資格を得た。

茶も人生も「とにかく楽しむ」ことを心掛けている。茶席も相手に型を押しつけない。3年前に85歳で亡くなった夫の介護も、夫への恩返し気持で続けた。「何事も前向きに楽しく。そうしたらすべてハッピー」とほほ笑む。

1月1日に米寿を迎えたが、今も京都市内で稽古を受け、「修業中」と快活に語る。「体が続く限り、このまま楽しく続けて、本物の味を味わってもらいたい」。京田辺市松井ヶ丘在住。

中田さん(京田辺市興戸・さんさん山城)に茶を振る舞う関係者らに訪れたドイツの福祉事業所の関係者らに茶を振る舞う中田さん(京田辺市興戸・さんさん山城)



マジックの発表などでにぎわった「相楽のつどい」(木津川市加茂町・市加茂文化センター)

演奏やダンス文化

木津川で催し 相楽の13回

相楽地域の市民サークルが演奏や踊りを発する「相楽の文化を創るつどい」が10日、木津川市加茂町の市加茂文化センターで開かれた。

出演団体でつくる実行委員会が、相楽地域にある5市町村の間の交流を深めようと毎年開いており、26回目。今年も、南陽高マシック部と笠置小児童が